

轉

て
ん

敬

ぎ
よ
う

8

2019
Aug.

信のとびら

お講と参詣

8月のご奉公のすすめ

8月のお寺の行事予定

6月のご奉公日誌

開導会「以信得久」

家族4世代でお参詣 聞信寺団参

今年度のご奉公テーマ「助行のすすめ」

信心増進を助成させてくれる大事な修行

神野照報師

私のよろこび

希望に満ちて

小難を無難に

後続者育成活動報告

こどもたちの会

八百万の神々



佛立本旨講妙應寺

お講と参詣

御講席での心得

開導聖人は、お講参詣の

心得を御指南に残してくださっています。

一、いずれの席にても遠い

近いを言わず、お参詣

することが信心。席を

自分勝手に選ぶのは謗

法。お導師よりも先に

参詣し、無駄話をせず

に口唱して待つこと。

二、信心口唱第一と心得。

三、お講席にて、物の紛失

等が無いようにお互い

に注意。

四、ご法門が済むまでは、

三宝への無礼に当たる

ので、自分の用事はし

ないこと。

五、ご法門が始まる前に席

に着くこと。

と、お講席毎に読み聞かせ

て、信者のお参詣の心得を

このように教えてください

ました。信者としてお講参

詣の心構えを忘れぬよう何

度も諛そらんずるよう教えてい

ただいたものです。

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

主な改良点は

つまり、あそこのお講席

はあまり馴染なじみがないから

お参りしない、お講の終わ

り頃に来てても平気だ、御宝

前から遠く離れた隅の方で

無駄話ばかりに花を咲かせ



る、余所見^{よそみ}してご法門を心に留めないなど、そのような信者ではダメですよ、と改良すべき点を注意してくださったというわけです。

お講席には積極的に参詣し、自分の体験を語り、人の体験談を漏らさずに聞くと、という姿勢が大切です。

「以信得入」を活用して

これから毎月、お講席では「以信得入^{いしんとくにゅう}」の冊子を使います。いつも携帯してよく読んでおきましょう。そして、皆でお講席を盛り上げてください。

また開導聖人のご教歌

に、「ことわざに人のふり見てわがふりをなほせといふはよきをしへかな」とあります。「人のふり見て我がふり直せ」という諺を引用して、他人の行儀を見て己^{おのれ}の行儀を直せと告示なのです。他人の悪いところを目ざとく見つけて喜ぶのが人の性^{さが}です。ご信者はそうならないよう、その悪い癖が自分にも無いかと反省するようにしたいものです。

に励んでいただければ、さすが信仰心を持ってご奉公している人は違うな、と世間から敬いの目で見られることでしょう。

この頃、お講席が全体的に緩んでいるように思います。佛立本旨講発展の為、参詣将引に力を入れ、お講席を開講本旨に戻し、ご弘通の道場となるよう頑張ります。

信仰心を持っている人は

さすが、と敬われたい

そのように日頃のご奉公



8月のご奉公のすすめ

今年度の御奉公テーマ「助行」

8月は日晨上人のご祥月です。
「お助行で信心を鍛え、お講で信心を整える」ご弘通ご奉公に積極的に取り組みたいものです。
毎月班内信者宅の祥月命日のお

助行を計画し、次世代家族が菩提心を起こし先祖にも感謝できるようにご奉公させて頂きましよう。

今月の「随喜轉教」

夏休み中やお盆休みは、子供達との会話を増やし家族の絆を深めるチャンスです。次の世代の若者にご回向の大切さを話し、

塔婆をあげて悩みが解決した体験等を話しましょう。信者仲間の支え合いの有難さも伝えるとけっこうです。

来月の「ご奉公のポイント」

一、竜の口ご法難記念5時間

口唱会

9月8日(日)9時半から14時半まで本堂にて5時間口唱会が開催されます。日蓮聖人のご恩に

感謝して班内家族に喜びを伝え、5時間口唱会への参詣をすすめましょう。

二、秋季彼岸総回向

9月23日(月)祝秋の彼岸総回向

が本堂では10時から、六角堂では12時半からつとまります。

ご先祖への報恩の気持ちで家族そろってお参詣させて頂きましよう。ご回向・お塔婆の申し込みは9月8日(日)までに寺務所に納めてください。六角堂行きバスの申し込みも同日までです。

三、防災の月

9月は防災の月です。気象庁からもレベル1〜5の避難準備予測が発表されることになりました。公の情報をよく活用し、さらに御宝前の固定、御本尊のお供袋の用意、家族の安全確認の方法、家具の転倒防止、避難グッズの用意等の備えを確認しておきましょう。



昭和59年8月31日に御遷化された日晨上人。営まれた法要は厳しい残暑の中でした。当日お香典受付のご奉公をされていた嶋村さん（かながわ北教区）は「とにかく暑かったです」と思い出を語っておられます。

その暑い夏が回ってきました。今年は、8月25日(日)。日晨上人祥月御命日法要にはご家族揃ってお参りさせていただきましよう。

8月の寺内予定

日 程	行	事	時刻
1日～7日	開講本旨再興祈願朝参詣週間		
1日	木	開講本旨再興祈願総講	10時半
3日	土	運営会議	9時半
		高祖会奉修本部会議	10時半
10日	土	連合幹事会	9時半
		後続者育成連絡会	10時半
11日	日	日晨上人祥月御命日法要奉修費、御香料、参加人数、お塔婆申込締切	
13日	火	高祖大士御命日総講	10時半
17日	土	開導聖人御命日総講	10時半
18日	日	開講本旨再興祈願口唱会（第三地区、弘通部）	9時半
		くんげ会・蓮華会合同御講	10時半
24日	土	正副教区長会	9時半
		日晨上人祥月御命日法要準備ご奉公	10時半
25日	日	日晨上人祥月御命日法要 (併修 門祖聖人御命日総講)	10時半

6月のご奉公日誌

「以信得入」の心を 開き導かれる契機に

6月16日⑩、開導
会が奉修されました。

日扇聖人全集から
ご利益談を編纂した
「以信得入」が完成、
全信徒に配布されま
した。

御導師から、「百年
以上前のご利益体験
は、現在とはだいた
い様子が異なるもの
もあります、通じて
拝見していると、『懺
悔↓改良↓御利益』
という流れがあるこ
とがハッキリ分か



ます。それこそ日尚
上人が生涯かけて教
えてくださったこと
です。そこを読み取っ
てこれからのご奉公
に役立てて欲しいと
思います」とこの小
冊子についてご披露
をされました。

第一座では、都教
区の齋藤妙子さん（写
真右）がご利益談をご

披露。心臓に問題を
抱えていたご主人が
ペースメーカーを入
れてからすっかり元
の生活に戻れた喜び
を語られました。

第二座の根田真理
子さん（写真左）の
ご利益談は、91歳の
母親を高倍率の老人
ホームへの入所がで
きたこと。「あなたが
お参りしてくれるか
ら、私は元気でいら
れるのね」と感謝の



気持ちが溢れており
ました。



ご法門前のビデオ
では、「以信得入」に
掲載されている2つ
のご利益談がアニメ
で紹介されました。
ホームページで視聴
いただけます。





平成31年6月行事報告

1日～7日	「開講本旨再興祈願 朝参詣週間」	
1日	⊕	開講本旨再興祈願総講を午前10時半より奉修
〃		運営会議を午後12時半より開催
〃		財務委員会を午後1時半より開催
2日	⊖	開導会 奉修費・御供米料・参詣人数締切日
6日	木	信徒講習会①を午前9時半より開催
8日	⊕	連合幹事会を午前9時半より開催
〃		後続者育成連絡会を午前10時半より開催
〃		評議委員会を午前11時より開催
9日	⊖	開講本旨再興祈願口唱会を午前9時半より奉修
		若い人の口唱会を午前10時半より奉修
		聞信寺団参締切日
13日	木	高祖大士御命日総講を午前10時半より奉修
15日	⊕	開導会全体会議・準備ご奉公を午前9時より開催
16日	⊖	開導会奉修
		第一座 午前10時より奉修 (写真上)
		第二座 午前11時半より奉修
17日	月	夏期参詣御供養御奉公者締切
22日	⊕	信徒講習会②を午前9時半より開催
23日	⊖	団参・聞信寺(静岡) 開導会 担当第三地区
25日	火	門祖聖人御命日総講を午前10時半より奉修
〃		正副教区長会を午後12時半から開催
30日	⊖	信徒講習会③を午前9時半より開催

以信得入



日扇聖人全集は一九五八年に発行された全35巻と別巻が2冊からなる膨大な日扇聖人の御著述集です。ここに記載されている多くの御利益談から二三四話を平易な口語に編纂した「以信得入」が刊行されました。

既に読破された方もいればこれからという方もおられると思います。皆様の声をお聞きしました。

寂光の道しるべ同様何度も読み返して理解を深めたいです。

◎昔の方の御信心に対するいちずさに感動しました。信心改良を心がけます。

◎今まで個別に頂いていた御利益談がまとまって読めるようになってありがたいです。

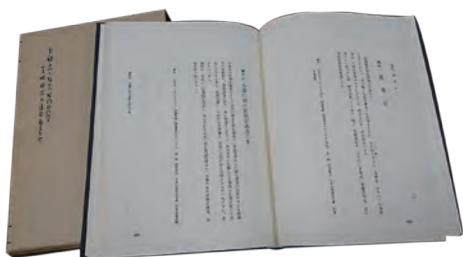
乙祥月御講では51頁の8みやがわちよう とらじよ宮川丁の虎女の話を読んで、回向の体験についてアクティブラーニング方式で話し合っています。こうした実践を通して、分かりにくい点を克服してゆきましょう。

◎我家での朝夕のお看経の後に、御宝前の前で一話ずつ読むことにしました。自分や家族が体験した内容や、まさかと驚く

ような御利益話もあり、これから楽しみます。

◎なんでも真剣になつて御信心しないと御利益は頂けないと思いました。

早速、「以信得入」を活用したお講席が奉修されています。7月の甲御講では、御法門前の体験報告は、「以信得入」6頁「我が身の罪障消滅」を読んで感想を話し合っています。



将来が楽しみな若い人たちの活躍

長野教区特別御講が奉修されました

齋藤美子記

佛立護法推進本部

長野担当

この日、7歳の柳沢大
燈君が、とても上手な

法鼓①で迎えてくれました。
お給仕係もお子さ
んたち。子供会による発
表「南無妙法蓮華経とは



何？」をわかりやすくマ
ンガにしたものを読み聞
かせてしてくださいまし
た②。若い人たちの活躍
に、将来がとても楽し
みです。

座談会では、テーマの
「家族に信心をすすめた

経験」にそつて、全員の
方に、お話し頂きました。

◆子供たちは、自分たち
のご信心の姿をよく見て
いる。それを踏まえた行
動をする。

◆子供に御講の日付を早
めに教えておくと都合
をつけてお参詣してく
れる。どうしてもお参詣で
きないときは、ご供養一
品作つてくれたり、お講
の経費をアルバイト料の
中から助けてくれる。

◆嫁いだ子供が自宅に来
た時必ず、人の幸せを祈
る祈願カードを書いても

らう。その時にご利益談
を伝える。

◆隣に住んでいる息子が
毎日6時45分に、お参り
してくれる。乙お講席を
うけると仕事を休んで、
家族でお参詣をしてくれ
る。

その他、たくさんの方
いお話をしてくださいま
した。



家族4世代で団参へ

聞信寺用導会

今回は多くの応援参詣者を得て担当の第三地区を含めて総勢61名で御参詣させて頂



きました。特に、名古屋教区は赤ちゃんから97歳になる狩野節さんまで、12名が車2台に分乗

して御参詣してくださいました。

節さんはご利益談も発表してくださり、その中で日在導師より「高齢になっても常に目標をもって信心に励んでください」とのお言葉を頂いたことが団参参詣にもつながった。




たとの事でした。ご家族からは「母、主人、私の三人でお参詣する予定でしたが、娘達も一緒に参詣したいと言出し家族四代全員でお参詣する事に成りました。大変嬉しく思います」とお話がありました。

初めて聞信寺団参に参詣された信者は、聞信寺の皆様のお迎えを頂き、気持ちよくお題目口唱させて頂くことができました。御利益談での「目標を持って」のお話しは目標を持って前へ進む大切さを教えて頂きました、とのコメントが寄せられました。

次回の団参は11月10日(日)に三島聞泉寺を予定しております

小難を無難に

長野教区 Sさん



先月の4月9日、長女の夫が車の運転中のことです。横の脇道から車が出ようとしていましたので、危ないと思います。クラクションを何回も鳴らしましたが、出てきてぶつかってしまいました。後部が大破し、その勢いで縁石に乗り上げて、車は廃車に。大怪我をしてもおかしくないほどの事故でしたが、病院で検査したところ異常はありませんでした。お守りを頂いたのだと思います。

ドに行く途中の高速道で、ガタガタとタイヤのあたりで音が出たのでサービスイリアに寄り、スタンドで見てもらったところ、大丈夫だろうと言うことでした。しかし、このまま高速道の運転は危険と思い、デイズニーは取り止めて、JAFを呼びトヨタまで運んでもらいました。トヨタで点検した結果、高速道で、このまま運転していたら事故になってもおかしくない状態だったとの事でした。その日は、保険で代車を手配して帰宅しました。

車に変な音が始めたのがサービスイリアのすぐ近くだった事。又、このまま行くのは危険と思い取り止めた事など、お守りを頂きました。娘たちも毎月ご祈願をかけさせて頂いていたので、大事に至らなかつたのです。本当にお祈りを頂き有難いです。

希望に満ちて

長野教区 Hさん

皆様のご祈願のおかげで、無事志望校に合格することができました。

ありがとうございます。クルスの仲間や良い先輩にも恵まれて、とても充実した高校生活を送ることができています。御宝前に感謝します。これからお講参りを続けていきたいと思えます。

私のよろこび

後継者育成 お助行よい

多摩教区 中島 恵

「次世代の交流を」



席主のご家族含め総勢17名の大勢のお助行でした。席主として迎えてくださったIさんご家族は、ご夫妻を始め三人のお嬢さんも揃って一緒にお看経を上げてくださいました。お参詣した若者のSさん、Mさんとも顔を合わせ、言葉を交わすことができました。このような同世代の触れ合いが大切と感じました。最後に連合長のNさんからIさんにお参詣の御参詣の将引がありました。御参詣が成就できることを願います。



本年度の総誓願を 改めて学んだ

信徒講習会

人の幸せを祈る信者になります
家族にもお講参詣をすすめます
お初穂の精神を家族で共有します

本年度第1回の信徒講習会は、本年度の総誓願について、

その意義を関連する3つの体験談を踏まえて学ばせていただきました。

参加者からはいただいた感想をご紹介します。

●「貴家はどんな宗派ですか？」と問われたとき、「他人の幸せを祈る信心です」とまず答えたのち、相手に応じて配布されたテキストのポイントを伝えるようにしたい。

●御講師から「ご利益は宝物」と。頂いたご利益をしっかりと心にきざみ喜んで伝え、人の幸せを願える信者として菩薩行に励むことのできる信者になりたい。

●今後、ささやかなご利益をいただけたと思えた時はノートに書きためてゆきます。

信心増進を助成させてくれる大事な修行

神野照報師

私達がさせていたたくお助行は、信心の仕方がよくわからない人、信心の眠っている

人に対して御利益を伝え、信心増進する様に仕向けて励まし、又、病気や、お願い事のある人に、お題目で応援をさせていたたく事だと思つて御奉公しておりました。そのなかで、あるお助行で現証利益の素晴らしさを目のあたりにし、この御信心は凄いと心に強く残っている思い出があります。

私が在家の頃ですが、ある娘さんが母を訪ねたら座布団に肘枕をして、膝を組んで眠

るようにして亡くなつていました。業者から柩に納棺するには、腕や足の骨が折れるかもしれない、と言われたので、母は生前、お題目を唱えれば身体が軟らかくなる、と言っていたのを思い出し、役中に電話しました。すぐ伯母にも連絡があり、そばにいた私もお助行に行くことになりました。早速集まつた五人でお看経をさせて頂きました。後から三人見えてお看経が力強くなった頃、娘さんが大声で泣きながら手や足が伸びたと叫んでいるので、振り返って見ると、ご遺体が

仰向けの寝姿となり、業者の方が慌てて納棺の準備をしておりました。お助行をした全員はお役に立てた事や現証利益が頂けた事に大感激です。

お助行は化他即自行とは教わっておりましたが、真実、相手方は勿論自分の信心増進も助成してくれる大事な修行であり、お助行こそ菩薩行実践の功德の積める大切な御奉公とあらためて感得させて頂きました。



★こどもたちの会★

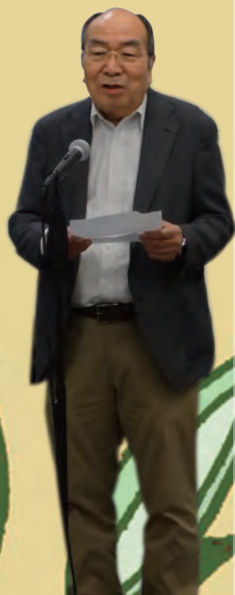
「八百万の神々」

<p>⑥ 仏様は、この世の道理を悟ったお方で...</p>	<p>⑥ 神社とお寺はどこが違うの？</p>	<p>それはね、お米を収穫する前に台風が来たら大変だから...</p>	<p>① 昔話に神様を拝む話がよく出てくるけど、なんで??</p>
<p>乗り越える心得を教えてくれていたんだ。</p>	<p>⑦ 生きて行く上で様々な苦しみを</p>	<p>② どうが災害が来ませんように...と祈っているんだよ。</p>	<p>② 台風が来るとどうなるの??</p>
<p>いとおくせの様に言う様、教えてくれているんだよ。</p>	<p>⑧ 感謝して生きる事が、幸せに繋がるから、いつもー</p>	<p>③ 半年もかけて育てたお米が、水に浸かってダメになっちゃうからね。</p>	<p>③ それは大変だ!!</p>
<p>⑨ 人の幸せを祈る菩薩の心で生きましょと教わっているの、仲間の病気全快をお願ひしたりするよ。</p>	<p>⑨ それから?</p>	<p>それを八百万の神々と言います。</p>	<p>④ それ、山にも海にも川にも森にも神様を祀る伝統がでました。</p>
<p>⑩ そうだよ!みんなも一緒にお参りしようね!</p>	<p>⑩ お寺ってすごい所なんだね!</p>	<p>それを拝む習慣が各地にあります。</p>	<p>⑤ 神様と言っても、神話の神様から、キツネなどの動物まで、色々あるよ。</p>

夏期参詣初日の決意表明

今年は、新元号の令和元年の夏期参詣です。本日より一カ月間の夏季修行の始まりです。普段お参詣されない方や、ご家族の方に声をかけて、お一人でも多くの方がお参詣をさせて頂けたらと思います。

(第二地区地区長五十嵐孝雄さん)



轉教

令和元年 8月1日発行 第20巻第8号 通算234号
編集兼発行人 山本 久男
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11
TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



info@myooji.com

題 字：水谷日尚上人

表紙絵：石綿悦子（埼玉東教区） モデル：ユキ（若林千尋さん）